

自由な発想と優れた技術力で全ての“管”境問題に取り組む

ユーシー産業株式会社 大阪市中央区

ユーシー産業株式会社は、洗濯機用排水ホースで馴染みのある合成樹脂製ホースなどのトップメーカーであり、既成概念を超える発想と最新の技術で製造しているスパイラル（らせん状）ホースの先駆者である。現在は、家電・設備機器用排水ホース以外にも、空調や医療・建築・土木関連など幅広い分野において、高性能でオリジナルな製品供給している。ホースやパイプと取り付け部品を一体成形する同社の特許技術は、部品点数の削減により作業時間の短縮を可能にし、ホースやパイプの用途を広げている。同社は、製品を単に“ホース”としてとらえず、“管”の周辺部分も視野に入れて全体としてとらえ、“管”に関するあらゆる問題を解決できる企業を目指している。

会社概要



会社名：ユーシー産業株式会社
 所在地：大阪市中央区南船場
 1-18-17
 商工中金船場ビル 10F
 電話：06-6799-1111 (代)
 FAX：06-6261-8875
 創業：昭和38年3月
 設立：昭和42年7月
 代表者：代表取締役 永吉 清治
 資本金：110百万円
 従業員：100名
 事業：家電・設備機器・建築用
 などの各種ホースの製造
 販売
 URL：<http://www.evuc.co.jp/>

スパイラルホースを作り続けて40有余年

昭和38年、現社長の実父で会長の永吉昭夫氏が個人組織でエーロン工業所を設立したのがユーシー産業株式会社の始まりである。当初、押出成形による洗濯機用排水ホースや流し台用排水ホースを開発・製造販売していた。現在、「ハイスイホース」の他に、エアコン用断熱ダクトや土木用ダクト、医療用ホースなど多分野の製品を開発・製造販売している。創業以来、約40年間にわたり同社は一貫して、「既成概念にとらわれない発想」を原動力にスパイラルホースのスペシャリストを貫いてきた。食器洗浄機用排水ホースは国内シェア100%、洗濯機用延長用・流し台用交換ホースは同シェア70%、エアコン用排水ホースは日本のメーカー全てにほぼ一社で納入している。同社が提供する製品の価値の高さと斬新さは、表彰された数々の受賞歴だけでなく、「管」に関する様々な課題に対する多くの解決数にも表れている。



土木用ダクトホース



洗濯機用延長ホース・流し台用交換ホース



本社のある商工中金船場ビル

発展し続ける研究・開発・生産システム

取引先の利便性や営業活動の機動性を考慮して、今年8月に本社を大阪市平野区から交通の便利な同市中央区南船場に移転。同社の製品は、鳥取工場（鳥取市）と全従業員が現地人である中国工場（広東省東莞市）で製造している。

従来、新製品や生産に高い技術が必要とされる製品は鳥取工場が主に対応し、大量生産段階の製

造は生産拠点を中国に移しコストダウンを図ってきた。中国工場は関西の大手家電メーカーの中国進出に伴い平成13年に操業を開始し、洗濯機用やエアコン用ホースを一社で全て供給していた。同工場の生産が軌道に乗った頃に、日本の大手家電他社が相次いで中国に進出してきたため、スムーズに同業他社に先駆けて大手家電他社にも製品供給ができることになった。



中国工場全景（広東省東莞市）

中国は日本に比べて人件費が安いというのに、最近、優秀な人材が採用できるようになり日本と同等レベルの研究・開発および製造ができるようになり、その上、中国工場は中国マーケットの販売拠点としての機能も担っている。鳥取工場は高付加価値商品の製造と基礎研究に軸足を置いている。

同社は鳥取工場と中国工場の完成により、国内にとどまらず、世界中の“管”周辺の課題を解決すべく研究開発から試作品製作、生産段階に至るまで、フレキシブルな対応が可能となった。

独自の特許技術“カフレス”



ホースと配管部品が一体となった「エバフリー」

管の接続には部品が必要というのが、これまで当たり前であった。ところが同社の特許技術である“カフレス”（造語、cuffless＝袖口がない）は、ホースやパイプと取り付け部品を一体成形することが可能であり、従来にはない発想と革新的な技術の応用により部品点数を削減し、接続箇所の減少による工事の簡易化、スピード化および総工

事費を削減することができる。

2005年、鳥取工場ではライン増設して、この“カフレス”技術を応用したシステムキッチンに内蔵された食器洗浄機用排水ホース（国内シェア100%）を製造している。今後はキッチンの高規格化に伴い、食器洗浄機を内蔵したシステムキッチンの普及が十分見込めるため、食器洗浄機用ホースの種類を増やし、増産する計画である。

ホーステクノミストから ホールテクノミストへ

造語、ホーステクノミスト：hose techno-mist
ホールテクノミスト：whole techno-mist
テクノミスト：technology & economist

同社は既存概念にとらわれない自由な発想と優れた技術力により、常に革新的な製品を開発してきた。また、よりスムーズな排水や高い屈曲性はもちろん、配管周りの部品点数削減による施工時間やコストの削減など、あらゆる面での課題解決や使いやすさ向上に取り組んでいる。

同社の企業理念は会社のロゴマーク（下図参照）に表われている。ブルーのラインはスパイラルホース。中央にある1つの●印は、お客様から収集した情報と、これまでに積み重ねてきた知力を表し、これらをインプットする。そして自由な発想で思考・試作し、新しい技術・製品・サービス（3つの●●●印）をアウトプットすることである。永吉社長は、「わが社にとって、管に関わる全てが課題である。今後もホース単体で同業他社と競争するのではなく、ホースの周辺部分も含めたトータルな問題解決策をユーザーに提案していくことを、わが社の使命としている」と明言。ホーステクノミストとしての企業力を活かし、管に関わるあらゆる利便性を提供するホールテクノミストへと進化し続けることに全社員が思いを寄せている。（武村、丸尾）